

# 資料編

## 1. SDGs の 17 ゴール・アイコン



**1 貧困をなくそう**  
あらゆる場所であらゆる形態の貧困に終止符を打つ



**2 飢餓をゼロに**  
飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する



**3 すべての人に健康と福祉を**  
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



**4 質の高い教育をみんなに**  
すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



**5 ジェンダー平等を実現しよう**  
ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う



**6 安全な水とトイレを世界中に**  
安全な水とトイレの持続可能な管理を確保する



**7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに**  
すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する



**8 働きがいも経済成長も**  
包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する



**9 産業と技術革新の基盤をつくろう**  
強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る



**10 人や国の平等をなくそう**  
各国内及び各国間の不平等を是正する



**11 住み続けられるまちづくりを**  
包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する



**12 つくる責任 つかう責任**  
持続可能な生産消費形態を確保する



**13 気候変動に具体的な対策を**  
気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



**14 海の豊かさを守ろう**  
持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



**15 陸の豊かさも守ろう**  
陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する



**16 平和と公正をすべての人に**  
持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する



**17 パートナーシップで目標を達成しよう**  
持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

## 2. 東京都レッドリストのカテゴリー区分

カテゴリー名称	表示	基本概念	
絶滅	EX	当該地域において、過去に生息していたことが確認されており、飼育・栽培下を含めすでに絶滅したと考えられるもの	
野生絶滅	EW	当該地域において、過去に生息していたことが確認されており、飼育・栽培下では存続しているが、野生ではすでに絶滅したと考えられるもの	
絶滅危惧Ⅰ類	CR+EN	現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの	
	絶滅危惧ⅠA類	CR	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
	絶滅危惧ⅠB類	EN	ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
絶滅危惧Ⅱ類	VU	現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの	
準絶滅危惧	NT	現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの	
情報不足	DD	環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧のカテゴリーに移行し得る属性を有しているが、生息状況をはじめとして、ランクを判定するに足る情報が得られていないもの	
留意種	*	<p>現時点では準絶滅危惧のレベルではないが、相対的に数が少ない種であり、次の理由（選定理由①～⑥）のいずれかにより容易に個体数が減少することがあり得るため、その動向に留意する必要があるもの</p> <p>&lt;選定理由&gt;</p> <p>①生育、生息環境が減少もしくは悪化することで、個体数が減少するおそれがある。</p> <p>②生息地の限定もしくは分断による個体群の縮小あるいは孤立化により、個体数が減少するおそれがある。</p> <p>③人為的な環境配慮により個体群が維持されているが、人為的な環境配慮が失われた場合、個体数が減少するおそれがある。</p> <p>④外来種の影響により、個体数が減少するおそれがある。</p> <p>⑤生活史の一部または全部で特殊な環境条件を必要としている種であり、これら特殊な環境が失われた場合、個体数が減少するおそれがある。</p> <p>⑥かつて悪化していた環境の回復にともない個体群規模が戻ったが、その状況は不安定であり、環境が変化すれば個体数が減少するおそれがある。</p>	
ランク外	○	当該地域で生育、生息が確認されているが、上記カテゴリーに該当しないもの	
データ無し	—	当該地域において生育、生息している（していた）可能性はあるが、確実な記録や情報が得られなかったもの	
非分布	・	生態的、地史的な理由から、もともと当該地域には分布しないと考えられるもの。ただし、鳥類では、確認記録があっても当該地域が主たる生息域ではないと判断される場合注は、非分布として扱った。	